



平成 21 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 S M K 株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 哲也
(コード番号 6798)
問合せ先 取締役常務執行役員 山田 一
(TEL . 03 - 3785 - 1111)

平成 21 年 3 月期 第 3 四半期末 特別損失計上に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期第 3 四半期において、下記の通り特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の計上

当社は、「投資その他の資産」に区分する保有投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難と認められたものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において減損処理による投資有価証券評価損の計上を見込んでおります。

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額 (連結)

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	641 百万円
(B)平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A / B × 100)	32,386 百万円 (2.0%)
(C)平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A / C × 100)	4,327 百万円 (14.8%)
(D)平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A / D × 100)	2,094 百万円 (30.6%)

- (注) 1. 当社の第 3 四半期末は、12 月 31 日であります。
2. 四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理に当たっては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 21 年 3 月期末においては、投資有価証券の評価損の計上額が変動する場合があります。
3. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期末において連結決算で特別損失に計上した投資有価証券評価損は、157 百万円であります。

2．減損損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有している事業用設備の減損処理について使用価値等を精査した結果、平成 21 年 3 月期第 3 四半期において連結、個別ともに 691 百万円を特別損失として計上する見込みです。

3．今後の見通し

上記の特別損失を含む平成 21 年 3 月期の連結および個別決算の業績予想につきましては、本日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しております。

以 上